

## 4 活動報告

研修会開催「インボイス制度・最終確認  
これから商習慣はどう変わる？」



② 商店街 鶴巻温泉南町商店会（秦野市）

③ 話 題 県内商店街間の東と西の端をつなぐ  
川崎市と湯河原町の商店街が友好提携

③ 横 顔 大磯町商工会：芦川博昭会長



5月の総会の様子

商連かながわは令和5年5月29日に定時社員総会と理事会を開催した。その中で役員交代があり、新会長として石川清貴氏（前副会長・横浜市）が選出された。前会長の升水一義氏（平塚市）は相談役に就任した。

副会長も理事の中から青木籌之氏（横浜市）、江成二郎氏（相模原市）、片野之万氏（平塚市）の三名が新たに選出され、浦上裕史氏（相模原市）と齋藤光久氏（藤沢市）が退任した。

コロナ禍が開けつつある令和5年に商連かながわは役員と事務局の体制を一新した。（会長新任あいさつは2面に）

## 商連かながわ、新体制へ 石川清貴副会長が会長に就任

「商連かながわ正副会長」

相談役	升水 一義	平塚市商店街連合会
会長	石川 清貴	（社）横浜市商店街総連合会
副会長	青木 籌之	（社）横浜市商店街総連合会
副会長	柳沢 正高	（社）川崎市商店街連合会
副会長	江成 二郎	相模原市商店街連合会
副会長	森下 守久	横須賀商店街連合会
副会長	片野 之万	平塚市商店街連合会
副会長	内藤 和美	座間市商店会連合会
副会長	伊藤 博	神奈川県商店街振興組合連合会

（※写真は新任）



副会長 青木 籌之



会長 石川 清貴



副会長 片野 之万



副会長 江成 二郎

《わかばカード》  
提携店を募集集中

新規

お問い合わせ TEL 045-201-3039(平日9:00~17:00 土・日・祝休)

具民共済

神奈川県民共済生活協同組合  
横浜市中区桜木町1-1-8-2  
具民共済プラザビル

第12回かながわ商店街大賞、募集中 [9/29まで!]

活性化に向けて、特色ある取組みを意欲的に実施している商店街の皆さん、ぜひご応募ください。【応募は9/29まで受付中】

★商店街部門  
大賞 1団体 (副賞8万円、楯)  
優秀賞 2団体程度(副賞3万円、楯)  
特別賞 2団体程度(副賞1万円、楯)

★大型店・チェーン部門  
大賞 1店  
優秀賞・特別賞 各1店

■応募方法  
応募書(別紙)に記入の上、郵送または持参してください。  
自薦及び他薦いづれも可能。  
詳しくは商連かながわWEBサイトをご覧ください。  
<http://shotengai-kanagawa.com/mallinfo/article3983.html>

公益社団法人商連かながわ

会長



会長 石川 清貴

会員並びに関係者の皆様、謹んでご挨拶申し上げます。

私はこのたび5月の総会におきまして、皆さまからご信託をいただき、新しく会長に就任いたしました。創立から71年目を迎える歴史ある団体の長として、身の引き締まる思いを抱いております。

さて、ここ数年、商店街にとって大きな打撃となったのは、何と云ってもコロナ禍でした。流行期には、商店街がこれまで活発に行ってきたイベントやセールなどの集客事業ができなくなり、ほぼ何もできず八方塞がりになってしまいました。

まさに商店街の存在意義が問われるような事態になったわけですが、しかしそれにより見えてきたものや、促進されたこともありました。キャッシュレス決済やリモートワークの普及、来街時間の変化などであり、世の中の一部がガラッと変わってしまったような感覚すら覚えます。

こうした大きな変化が起きてしまうと元に戻ることは難しいと言わざるを得ません。キャッシュレス決済についても、個店にとっては現金の方が利便性が高いのですが、社会全体のコストダウンに繋がりますし、何よりお客様がキャッシュレス決済を使いこなされるようになりまし

挨拶

た。今後さらに必要性が増していくのは間違いありません。我々商店と商店街も、変化する現実社会をしつかりと受け止め、努力し、変わっていく必要があります。

そのためにも、商連かながわとしては、会員のみなさんの声を大切にしたいと考えています。商店街は県内様々な場所に存在しており、自治体ごとに人口や産業も大きく違い、その状況は全く異なります。そうした中、私からお願ひしたいのは、みなさんから声を挙げて欲しいということ。商連かながわは県内の商店街をまとめる大きな組織であり、様々な地域の声を吸い上げ、大きな力へと変えていくことがその役割として求められていると考えています。

そして神奈川県には「神奈川県商店街活性化条例」があります。条例には地域の核である商店街を大切にしようという理念があり、それは商店街が、豊かな地域文化を育む主体だからこそ生まれたものです。商店街は県や市町村など行政はもちろん、地域住民や学校、NPOなど様々な人や組織と、一緒に地域を盛り上げていくことが今まで以上に必要なのではないでしょうか。

私は会員の皆さまとの信頼関係のもとに、目の前に存在する課題に向き合い、活力に溢れる商店街づくりを目指していく所存でおります。皆さまの一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

21世紀の商店街のいま

「鶴巻温泉南町商店会」

(秦野市)

様々な業態のお店でも参加できる事業で求心力を維持

鶴巻温泉南町商店会は、設立から20余年の駅前商店会だ。駅南口の再開発に合わせ活動を受け、2018年の駅前広場の完成に合わせて商店街経営の売店をオープンした。また、コロナ禍の中での抽選会など、できることを生かした事業を行ってきた。

◎2018年に駅前広場が完成し、同時に商店街のお店「延命くん」をオープン

鶴巻温泉駅の南口は以前は細い道しかなく、再開発の話が持ち上がった2000年に近隣商店会が合併するかたちで商店会が設立された。「当時は様々な商店が立ち並んでいましたが、再開発に18年もかかり、店の顔ぶれがだいぶ変わってしまいました」と話すのは川上拓郎会長。

お店が廃業などで無くなってしまう状況下、商店会では駅前の一角の店舗を借りて売店をつくることになった。それが「延命くん」である。店名は、近隣の地域の財産である「延命地蔵尊」から命名された。

◎商店会で組合をつくり、売店を運営

店は商店会が出資する「協同組合ほつと鶴巻」が運営し、市内の採りたての野菜や食品、菓子や惣菜など様々な商品を販売している。開店から5年、毎日地元のお客や観光客に利用され、売上も好調だという。「駅前に食料品を売る店が少ないので、こうした地域密着のお店となって、本当に良かった」と、川上会長も笑顔になる。

◎会員店みんなが参加できるイベント

しかし商店数の減少は深刻で、以前のような大売出しなどのイベントは出来な

い。そこで商店会は今年の2月に「鶴巻南町商店会通貨 大抽選会」を初開催した。対象店舗の利用でスタンプがもらえ、それを集めたら抽選に応募できるというシンブルなものだが、賞品が10万円の商店会商品券と、高額であるのがポイントだ。

なぜ高額にしたかという点、会員店に電機や水道工事、各種サービス関連などの業種が増えたからだという。こうした業種では一般的な数千円の商品券だと使われにくい。実際に、今回の当選者が自転車を購入するのに商品券が活用されたという。発想を切り替えて行ったスタンプラリーだ。

◎地域の財産「延命地蔵尊」を生かす

「皆で一つのことがやりやすい時代ですが、なんとか頭をひねって活動をしていませ」と話す川上会長。

商店会では、延命地蔵尊に関連したモニュメントを駅前広場に設置しており、近隣小学校に延命地蔵ストラップを寄贈するなど、地域貢献活動も積極的に行っている。

皆で一つは難しいかもしれないが、普遍的な繋がりは今後も続いていく。それを延命地蔵尊も温かく見守っていくことだろう。



DATA DATA

**鶴巻温泉南町商店会**

所在地：秦野市鶴巻南 1-1-5  
 電話番号：0463-77-1313  
 会員数：32

# リーダーの横顔

各地域の新会長に聞く



芦川 博昭  
会長  
(大磯町商工会)

『大磯町の商業環境をどのように感じていますか?』

ありがたいことに最近、町内に移住される方が増えており、しかも地元のお店を大切にしてください。私が会長になってから「大磯エール」という商店紹介の冊子をつくり、商店主の顔写真も入れて親しみやすくしたところ大変好評で、多くの新しいお客様との出会いがありました。

## 県内商店街間の 東と西の端をつなぐ 川崎市と湯河原町の 商店街が友好提携

川崎市中原区の本通・ブレイメン通り商店街と、湯河原町の湯河原駅前通り商店街は、5月29日、商連かながわの総会終了後に「友好提携宣言式」を行った。今後の連携をはかることを目標に、ブレイメン通りの小宮隆一理事と、明商店街の村上一夫会長は宣言文を読み上げ、固い握手を交わした。

今後はお互いのイベントへの出店や、販売促進の協力、商店街ツアーの開催など様々な企画を協力して実施することを企画している。



東の端と西の端の商店街の連携ということで、今までに無かった新しい事業などが期待されている。

『町内の商店はどんな環境にありますか?』

以前は多くあったお店が、今はひとつの業種につき1店ほどしかない有様です。しかし毎月の朝市イベント「大磯市」により、そこで手応えを得た若い業者が町内に出店する流れが出来つつあります。商工会にも入ってもらい、役員も若返りをはかりました。彼らの起業で支えてもらっています。

『最近注目している事を教えてください』

地域間交流に注目しています。具体的には、海側の大磯町の商品を、山側の市町村などで売り、また先方には当方の「大磯市」に出店してもらおう等で、双方が得をする関係をつくりたいと考えています。ご興味のある他市町村の方はぜひ声を掛けていただけたらと思います。

## 商店街を支援する

### 商連かながわの推せん会社紹介

当会は、商店や商店街(会員の)店舗や共同施設の整備、サービス業務などを安心して受けられる企業を選定し推せんしています。今回は新しく認定を受けた会社をご紹介します。

『街の看板ならおまかせ、美観や安全性の向上へ』

#### 株式会社アイン

看板事業部 吉田幸司さん

『どんな業務を行っている会社ですか?』

看板の保守・点検・補修・メンテナンス、看板製作、LED交換工事などを主に行っています。洗剤製品の製造販売も行っており、二つの事業で安心でクリーンな社会に向けて貢献しようと考えています。

『商店街にお勧めの商品やサービスがありましたら教えてください』

看板のメンテナンス事業がお勧めです。設置後しばらく経って、強度等が心配になってきた看板等の調査と応急処置を行うものです。老朽化した看板は痛ましい落下事故を引き起こしたり、景観を阻害したりします。また弊社ではLEDの交換工事も行っております。蛍光灯からLEDへの交換をしている店舗は増えていて、交換すると今までより明るくなり、電気代が安くなるのでお勧めですよ。気になりましたら(株)アインまでご連絡ください。

『同様に、個店にお勧めの商品やサービスがありましたら教えてください』

個店向けに限らず「ザ・カンバン組」と題した看板の施工・メンテナンス事業も

行っており、現在、大手コンビニを始め飲食店等約10万件の実績を重ね、人材・技術・設備においても業界トップクラスと自負しています。



『最後に読者にメッセージをどうぞ』

「看板」と問われたらアイン、アインと考えると「ザ・カンバン組」と思い出していただけだと思います。新しい看板の設置ももちろん、頭を悩ませる古い看板などについてもご相談ください。危険である場合には応急処置も可能なのが強みです。ご連絡をお待ちしております。

#### 株式会社アイン

担当者：看板事業部 企画営業 伊関正人  
住所：横浜市金沢区幸浦2-22-15  
電話：045-785-2301

#### 商連かながわの推せん会社

- 看板メンテナンス アイ  
・街路灯 日本街路灯製造
- ・防犯カメラ サンコーライティング社  
・アーケード 日米アトム
- ・道路・駐車場整備 前田道路

直前に追ったインボイス制度について理解を深める  
「商店街活性化研修会」を開催

6月26日、商連かながわは商店街の地域活動等に参考になる講演を行う「商店街活性化等研修会を、公益財団法人神奈川産業振興センターとの共催で行った。講師には、さくらみらい税理士法人 公認会計士・税理士の舟生俊博氏を招き「インボイス制度・最終確認 これから商習慣はどう変わる？」として講演いただいた。その内容についてまとめる。



「講演内容のポイント」

- ◆インボイス制度に対応することで手間が増えることは間違いないが、これを機に業務のデジタル化を行い、人がやることを減らす業務改善が求められている。
  - ◆商店街団体、あるいは個店が課税事業者になるか免税事業者になるかの判断については上図を参照。現在の取引先がどういう属性の相手が多いかで決める。
  - ◆売り手が「インボイス番号なし」で、買い手が「原則課税事業者」になる場合の取引にのみ注意が必要で、それ以外の組み合わせの取引であれば、片方・双方が番号なしのままでも問題ない。（※原則課税事業者とは、課税売上高が5,000万円を超える事業者のこと）
  - ◆売り手としての準備は、①インボイス番号取得 ②適格請求書の雛形作成 ③請求業務の再構築など。買い手としての準備は、①取引先の登録番号確認 ②取引継続の検討 ③支払業務、経理業務の再構築（請求書の確認・インボイス番号の確認・伝票処理・請求書の保存など）
  - ◆商店街の会費は、一般的には対価がないので課税対象とならないケースが大半であり、インボイス番号の要らない取引である。例えば大型店から会費を支払ってもらうケースは、売り手が商店街、買い手が大型店になるが、課税対象にならないので、特に問題ない。
- 「講演の動画は、商連かながわWEBサイトから見ることができます。ぜひご覧ください」



神奈川県の中小企業  
経済団体が合同要望

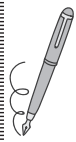
商連かながわを含む、神奈川県内の中小企業経済団体5団体（県商工会議所連合会／県商工会連合会／県中小企業団体中央会／商連かながわ／県商店街振興組合連合会）は、合同で国に向けた要望活動として、7月24日に自民党神奈川県支部連合会、7月26日に公明党神奈川県本部に対し、県内中小企業団体の厳しい状況を伝え政策要望を行いました。この中で、商連かながわは次の3点について特に要望いたしました。

- 1) キャッシュレス決済の推進
- 2) 商店街に対する支援の実施・拡充
- 3) 電子帳簿保存法改正への対応に向けた支援の実施



編集後記

毎月、神奈川新聞に商店街イベント情報を集めて掲載してもらっています。この夏は4年ぶりに夏祭りを開催する商店街なども多く、本当にアフターコロナが見えてきました。商店街に暑い夏が帰ってきたようです。



募集中です!

神奈川県商店街等プレミアム商品券支援事業費補助金

地域の消費を喚起することにより、物価高騰等による影響を受けている商店街の活性化を図ることを目的としたプレミアム商品券発行事業を、県が支援します。

◆今年度もすでに30以上の商店街が制度を活用 ◆申込期限は令和5年12月1日(金)まで

- 補助額の上限：
  - 1 商店街当たり200万円もしくは100万円
  - 複数の商店街団体等が連携して実施する場合は最大500万円
  - (※各条件があります。ご確認ください。)
- 補助率：補助対象経費の3/4以内
- 補助対象経費
  - ・プレミアム商品券のプレミアム(割増)分
  - ・プレミアム商品券の券面の発券に係る印刷費
  - ・プレミアム商品券発行事業の周知に係る広告宣伝費(チラシ、ポスター、新聞折込、地域紙の掲載に係る経費に限る。)

※詳しくは神奈川県のWEBサイトをご覧ください。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/m2w/corona/r5premiumshien.html>

